

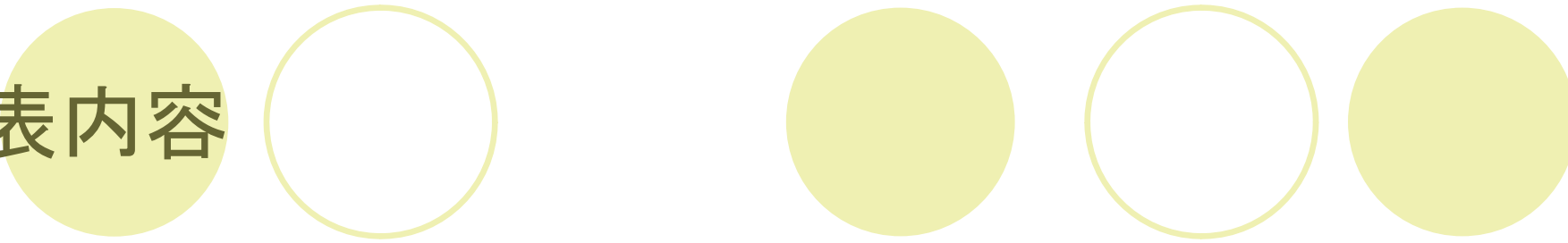


平成22年度福島県「大学生の力を活用した集落活性化事業」
塙町矢塚区の調査報告

東日本国際大学
地域まちづくり研究グループ

2010.11.19

発表内容



1. はじめに
2. 埜町矢塚区の概要
3. 調査内容
 1. アンケート調査 & 意見交換会
 2. 実地調査
4. 埜町矢塚区活性化のアイデア
5. おわりに

はじめに

- 埴町矢塚区の調査について
- 東日本国際大学地域まちづくり研究グループについて



私たちの調査テーマは・・・

What's 矢塚？

- 矢塚とはどんな場所なのか、
 - 何があるのか、
 - どんな人たちが住んでいるのか、
 - どんな美味しい食べ物があるのか！？
- そして・・・
- どんな活性化の方法があるかを考えよう！

塙町について

【地理】

- 福島県の東南に位置し茨城県と接する
- 山: 八溝山、米山
- 河川: 久慈川

【人口】

- 約11,000人

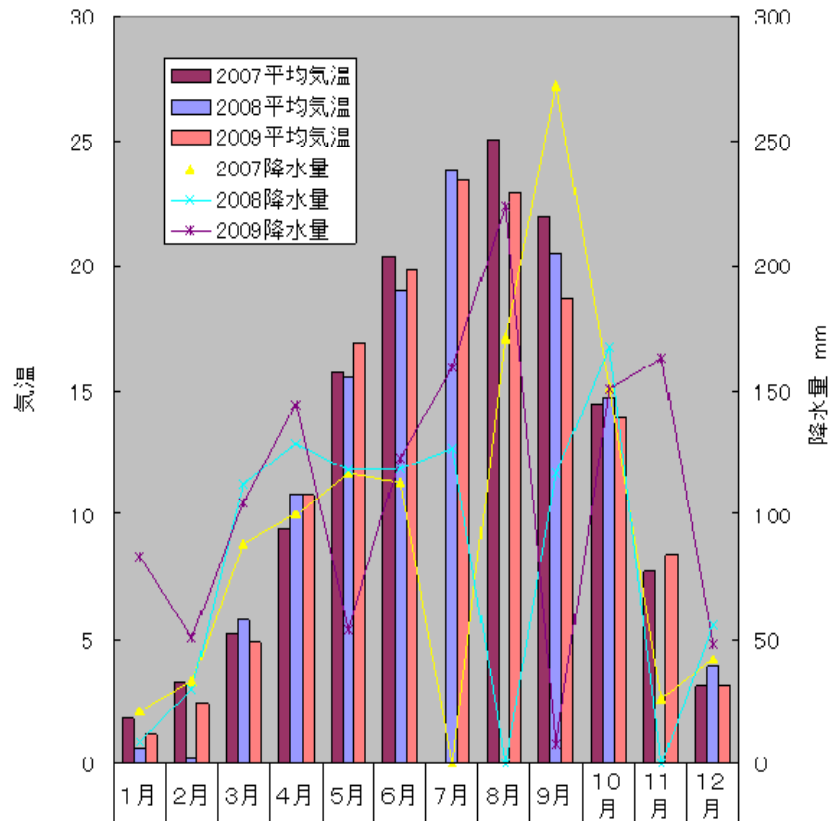
【アクセス】

- 白河ICから国道289号線、118号線利用で45分
- いわき市、茨城県高萩市とも隣接



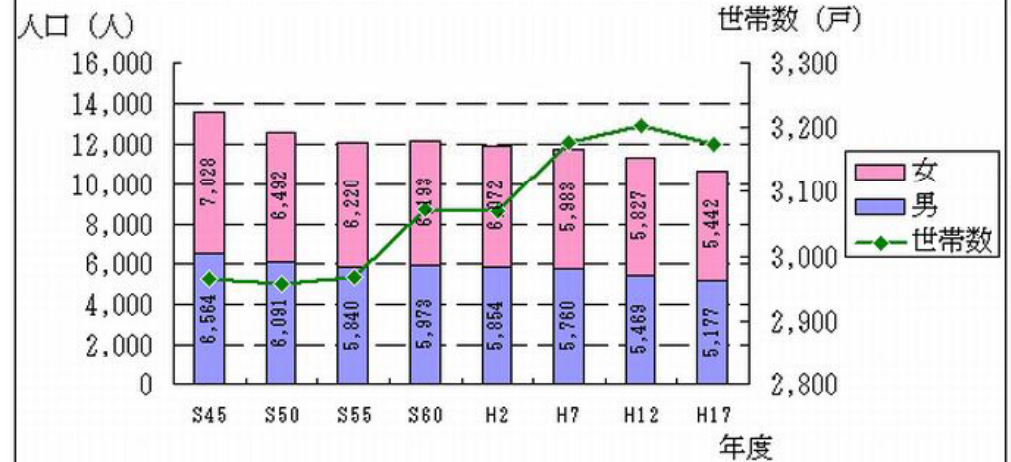
埴町について2

埴町の平均気温と降水量

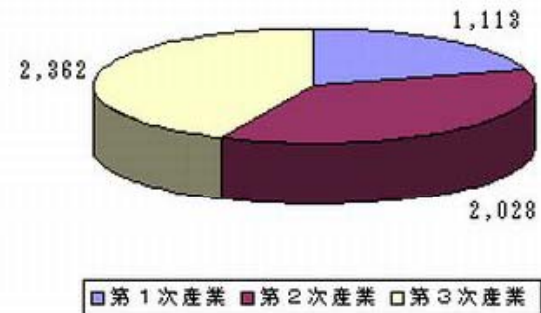


2007平均気温	1.8	3.2	5.2	9.4	15.7	20.4	25.0	22.0	18.7	13.9	7.7	3.1
2008平均気温	0.6	0.2	5.8	10.8	15.5	19.0	23.8	20.5	14.7	0.0	0.0	3.9
2009平均気温	1.2	2.4	4.9	10.8	16.9	19.8	23.4	22.9	18.7	13.9	8.4	3.1
2007降水量	21	33	88	100	117	113	0	171	272	151	26	42
2008降水量	9	30	113	129	118	119	127	0	117	167	0	56
2009降水量	83	51	105	144	54	123	159	224	8	151	163	48.5

人口と世帯の推移



平成17年国勢調査
産業別就業者数 (単位: 人)



埴町矢塚区について

【位置】

- 埴町南東部、中心部から車で30分以上

【気候】

- 高山気候

【世帯数】

- 35戸、111人(男性55人、女性56人)

【農林水産業、その他】

- 主に高原野菜や花き(ダリア等)
- 林業、酪農(牛)
- ヤマメ等(川が綺麗)
- 自然蒼鉛、ホセ鉱、自然金、柘榴石などが産出する



調査経過

- 2010. 08. 04 現地入り&顔合わせ
- 2010. 08. 28 意見交換会(+アンケート調査)
- 2010. 09. 17 現地調査
- 2010. 10. 09 やつか子ども祭り参加
- 2010. 10. 22 現地調査(戸別ヒアリング)
- 2010. 11. 03-04 宿泊調査



意見交換会 & アンケート調査

- 8月に矢塚区民(世帯)アンケート調査を実施
 - 方法: 矢塚区各世帯への回覧板を通じて配布
区長が回収(回収率: 51.4%)
- 8月28日にアンケートを基にして意見交換会を実施
 - 30人余りの矢塚区の皆さんが参加してくれました



アンケート調査結果概要

1. 片貝小学校矢塚分校の廃校を見据えた分校裏山の里山づくりとその活用策、里山周辺と一体化した地域活性化策などについて
 - 学校を宿泊できるように改装し、農業体験や林業体験できる施設にする
 - 分校建物を夏休み等に都会の子どもたち来ていただき林間学校を開く
 - 矢塚地区30戸で、高齢化が進んでいる中、里山プラス地域活性化が頭に浮かばない
 - 「矢塚分校」+「希望の森」を拠点とした観光施策では規模が小さく集客性に疑問。上記拠点に大平溪谷と周辺山林をセットした周遊コース
2. 観光・交流人口の増加のために、矢塚区(埴町)が対外的にアピールできるものについて
 - 豊富な森林資源、新緑、紅葉の美観は際立つ。山頂の景観は素晴らしく夜空の星座も美しい
 - 育牛・トマト・インゲン・杜若・トルコ桔梗を産出しているが地域ブランドは無い
 - 地域共同体としての人間関係は濃密であり、区の一体感も強い
3. 矢塚区が抱える課題、直していかなければならないことなどについて。
 - ・河川の汚れ・・・排水の基盤整備が不十分なため、河川の汚染が進んでいる
 - ・結婚適年齢者が結婚していない
 - ・廃屋や無住宅家屋があり、集落の荒廃感を印象づける
 - ・農産物を作っても農協だけが頼りなので売価が低い
4. 観光・交流事業を行う場合の参加、活動について
 - 農閑期なら手伝う・労働力で協力する
 - 年金生活と農業で参加は難しい
 - 事業が具体化した場合も調査のサポート、スタッフの受け入れ(ホームステイ、ガイド等)など積極的に参入したい
 - 活動主旨(目的、手段等)を地域住民に説明説得して地域一体で参入できる為に働きたい
5. その他矢塚区のまちづくりや活性化に関連することについて
 - 矢塚区の将来ビジョンを明確に定めて取り組む必要がある
 - 増大する高齢者の労働力を活用する新たな産業の開発は無いか(高齢者の労働意欲は高い)

意見交換会でのまとめ

●野菜について

- ・トマトやインゲン、白菜などとても美味しいものが採れる。採れたてはとくに美味しい。
- ・「矢塚ブランド」をつくり、インゲンなどをブランド品として取り扱ったらどうか。
- ・買いにきてくれる人はなかなかいないので、野菜をネット販売したらどうか。
- ・宅配で売るなら直接自分たちで売って、ふれあいを持ったらどうか。

●自然について

- ・山の景色が綺麗なのでトレッキングコースなどを作って景色を楽しんでもらうのはどうか。
- ・夜空もとても綺麗なのでこれも活かさないか。
- ・小動物や野鳥もたくさん見られるので観察してもらったらどうか。ただ見られる保障はない。
- ・水は天然水や井戸水を利用しているため、ペットボトルの水より美味しい。
水質を調べてみたらどうか。

●山菜について

- ・山菜も何でも採れるし美味しいので活かしたい。
- ・山菜を活かした何かをするなら退職した人たちに手伝ってもらったらどうか。
例えば山菜の案内人として案内し、観光客自身に山菜を採ってもらい食べて楽しんでもらう。

●廃校になる分校について

- ・林業の研究施設にしたらどうか。
- ・加工場にして、来てくれた人に加工したものを食べてもらったらどうか。
- ・体験学習の施設にしたらどうか。
- ・宿泊施設にしたらどうか。

●その他、問題点など

- ・退職した人でも元気な人が多いのでボランティアとして協力してもらおう。
- ・来年にはインターネットができるようになるのでそれを活かしたい。
- ・道路をもっと整備しないと人が来ないのではないか。
- ・山菜は他県の人に来て勝手に採っていってしまう。ゴミを捨てていく人もおり、車で来るため子供たちにも危険である。このことで外部の人が来るのを嫌がる人もいる。

実地調査①子どもまつり参加



実地調査②戸別ヒアリング



実地調査③宿泊調査



実地調査③ 宿泊調査



埜町矢塚区の強み・弱み～調査内容から～

● 強み

- 濃密な人間関係、区の一体感も強く、中心メンバーのやる気がある
- 食材が豊富(山菜、高原野菜)
- 豊富な森林資源、河川、新緑、紅葉の美観は際立つ
- 標高が高いため、夏でも涼しいなど春～秋は過ごしやすい気候

● 弱み

- 情報通信インフラおよびソフトの不足(→解消予定)
- 交通アクセスが悪い
- 高齢化・人口減少・若者が少ない・嫁が来ない
- 農産物を作っても農協だけが頼りなので売価が低い(規格外野菜がもったいない)
- 地域ブランド力がない、地域づくりのノウハウ＋経験不足
- 女性の活用

埴町矢塚区の活性化アイデア例

- 女性のための温泉と自然の健康 & 美容ツアー
- 情報化推進・インターネットの活用
 - 情報発信・ネット販売
- 高原野菜・山菜のブランド化
 - 規格外野菜の有効活用
 - 付加価値をつけてブランド化(加工、料理等)
 - 共同出荷・ネット販売の検討
- 矢塚キッチン(地元の野菜を使って)
- 二地域居住
 - 避暑の別荘として、湯遊ランドとタイアップ、市毛さんの生活がモデル)
- グリーンツーリズム一手軽な体験旅行
 - 子供の自然体験、農業体験、山菜収穫と調理
- 水ビジネス(お酒製造など)

埴町矢塚区の活性化アイデア1 埴町で若返りツアープロジェクト

● 趣旨

- 温泉、山、川、食材など矢塚区周辺の自然資源を最大限に有効活用し、組み合わせる⇒ネットワークによる相乗効果を図る
- 埴町と矢塚区が連携をとり、女性層のお客を増やす
- 口コミで女性のネットワークで矢塚区の知名度を少しずつ上げていく

● 内容

- 高原野菜と山菜を使った体に良い自然健康食
- 遊歩道と川でマイナスイオンを浴びる
- 「若返りの湯」で健康に

● ターゲット

- 女性、高齢者、癒しを求める現役世代も

● 課題

- ネットワーク化・メニュー開発が急務、コーディネーターが必要
- 高原野菜と山菜を食べられる施設がない

埜町矢塚区の活性化アイデア2 矢塚キッチンプロジェクト

● 趣旨

- 矢塚産野菜に付加価値をつける⇒料理の開発、ブランド化
- 女性の力を活用⇒女性が主役

● 内容

- 矢塚の高原野菜、山菜を食べれるレストラン・食堂を作る
- 農家レストランとして、区民の農家の方の自宅で営業してもよい
- 取れたての新鮮野菜を地産地消する、レシピを開発
 - 高原野菜の天ぷら、山菜炊き込みご飯
- 行楽シーズン、ベントに合わせるなど、外部から人が集まる際に開店

● 課題

- 店を広告する情報網が狭い
- 安定的な売り上げの確保

埴町矢塚区の活性化アイデア3 二地域居住推進プロジェクト



● 趣旨

- 標高が高く夏が涼しい矢塚を避暑地としてアピールして、山中の隠れ家のような別荘地として二地域居住を進める

● 内容

- 区内の空き家などをリフォームして首都圏居住者の別荘にする
- 買い物や飲食できる施設学内に無いので「湯遊ランドはなわ」とタイアップするなどソフトを充実させる

● 課題

- 場所が分かりにくい→手書きのマップ、看板
- 新規参入者と元々の区民が仲良くやっていく

矢塚区が今後活性化するために…

- プロジェクト推進のための体制づくりが最優先課題！

- いいものがたくさんあるのに活かせていない
- 矢塚区（埜町）の情報が少なすぎる
- 意欲があっても活動できない人もいる
- 「よそ者、バカ者、若者」そして高齢者を入れた組織づくり

- 商品化・ブランド化が必要（将来的に）！

事業展開イメージはこんな感じです

☆まごころ込めて歓迎します☆

名称	あったかぽかぽか矢塚うえい(^O^)/
原産地	塙町 矢塚区
原材料	自然溢れる山と川、高原野菜と山菜、人情、信頼、安らぎ、 ((原材料の一部に区長のボケを含む))
内容量	1区
保存方法	生ものですのでぜひ現地でお楽しみ下さい!! ((自然の中、信頼のある場所で保存して下さい!!))
製造者	フロンティア矢塚(株) 渡邊松吉代表 役員: 矢塚分校PTA卒業者, 青年団など
賞味期限	年中楽しめます(とくに春~秋!! 冬も……可(^_-)-☆) ※おいしく楽しんでいただく為に防寒着を着用して下さい!!
お問い合わせ	福島県東白川郡塙町 矢塚love係り まで……^^

おわりに

